

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : 食品添加物 ゲル化剤・乳酸カルシウム製剤
 (製品名) アイコク フレッシュアガー-BOS
 供給者の会社名称, 住所 : 大宮糧食工業株式会社 相模原工場
 及び電話番号 : 神奈川県相模原市緑区橋本台1-30-23
 TEL:042-771-2580 FAX:042-771-2611

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

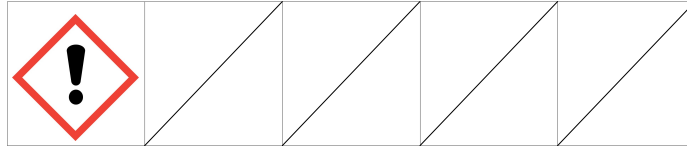
健康有害性の危険有害性情報

急性毒性(経口) : 区分4
 皮膚腐食性/刺激性 : 区分2
 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分2A

(注) 物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は、現時点で「分類対象外」、「分類できない」又は「区分に該当しない」である。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 警告
 危険有害性情報 : 飲み込むと有害
 皮膚刺激
 強い眼刺激

注意書き

: ご使用前にSDSをお読みください。

【安全対策】

取扱い後はよく手を洗うこと。

この製品を使用するとき、飲食または喫煙をしないこと。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

飲み込んだ場合: 気分が悪い時は医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹼)で洗うこと。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

口をすすぐこと。

眼の刺激が続く場合: 医師の診断／手当てを受けること。

【保管】

直射日光や高温多湿、水濡れを避けて、施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物/容器を国・地方自治体の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 化学名又は一般名 : 食品添加物 ゲル化剤・乳酸カルシウム製剤
 成分及び濃度又は濃度範囲 :

CAS No.	成分名	含有量	備考
7722-88-5	ピロリン酸四ナトリウム(無水)	10.5%	表示・通知対象物

その他成分は、表示ラベルを参照してください。

4. 応急措置

- 吸入した場合** : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合** : 汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚を速やかに多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合や気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
- 眼に入った場合** : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合** : 口をすすぐこと。
気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 最も重要な兆候及び症状** : 眼、皮膚、気道を刺激する。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤** : 粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤、噴霧水
周辺火災の種類に応じた消火剤を用いる。
- 使ってはならない消火剤** : 棒状放水(本品があふれ出し、生物に対する有害性や環境汚染を引き起こすおそれがある。)
- 火災時の特有の危険有害性** : 加熱されると分解して、腐食性及び毒性の煙霧を発生するおそれがある。
- 特有の消火方法** : 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置** : 有毒ガス等の接触を避けるため、消火作業の際は風上から行き、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具および緊急措置** : 作業者は適切な保護具(「8. ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や粉じんの吸入を避ける。
全ての着火源を取り除く。
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
密閉された場所に立入る前に換気する。
風上に留まる。
- 環境に対する注意事項** : 環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材** : 危険でなければ漏れを止める。
水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。
- 回収・中和** : 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。
- 二次災害の防止策** : 一般市民・水棲生物への影響が懸念される場合には、直ちに関係官庁・供給者に連絡する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い**
- 技術的対策** : 『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 局所排気・全体換気** : 『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
- 安全取扱い注意事項** : 取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
粉じんの拡散を防止する。
飲み込まないこと。
眼に入れないこと。
- 保管**
- 技術的対策** : 特別に技術的対策は必要としない。
- 保管条件** : 直射日光や高温多湿、水濡れを避けて、施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	: 未設定
許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
日本	: ピロリン酸四ナトリウム(無水物)として 未設定
ACGIH	: ピロリン酸四ナトリウム(無水物)として TWA 5mg/m ³ (2005年版)
設備対策	: 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	: 適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	: 適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用すること。
衛生対策	: 取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态	: 粉末
色	: 黄褐白色
臭い	: 無臭～わずかに特有のにおいあり
融点/凝固点	: 混合物としての知見なし
沸点又は初留点及び沸点	: 混合物としての知見なし
範囲	
可燃性	: 混合物としての知見なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: 混合物としての知見なし
引火点	: 混合物としての知見なし
自然発火点	: 混合物としての知見なし
分解温度	: 混合物としての知見なし
動粘性率	: 混合物としての知見なし
溶解度	: 混合物としての知見なし
n-オクタノール/水分配係数(log値)	: 混合物としての知見なし
蒸気圧	: 混合物としての知見なし
密度及び/又は相対密度	: 混合物としての知見なし
相対ガス密度	: 混合物としての知見なし
粒子特性	: 混合物としての知見なし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の取扱条件に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
化学的安定性	: 通常の取扱条件に従った保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	: 混合物としての知見なし
避けるべき条件	: 混合物としての知見なし
混触危険物質	: 混合物としての知見なし
危険有害な分解生成物	: 混合物としての知見なし

11. 有害性情報

混合物としての知見なし
成分についての毒性情報とGHS分類

成分	ピロリン酸四ナトリウム(無水物)
急性毒性	経口 : 区分4
	経口 ラット LD50=1000~3000mg/kg (ACGIH (2001))の下限値 LD50=1000mg/kgに基づき、区分4とした。
	経皮 : 分類できない
	データなし
	吸入:気体 : 分類対象外
	GHS定義における固体である。
	吸入:蒸気 : 分類できない
	データなし
	吸入:粉じん : 分類できない
	データなし
吸入:ミスト : 分類対象外	
GHS定義における固体である。	

皮膚腐食性／刺激性	皮膚刺激 : 区分2 ヒトでmildからmoderateの皮膚刺激反応が見られたとの記載(ACGIH (7th, 2001))に基づき、区分2とした。
目に対する重篤な損傷性／目刺激性	強い眼刺激 : 区分2A ウサギでsevereの眼刺激性があり角膜に障害をもたらすとの記載(ACGIH (7th, 2001), HSDB (2003))、ヒトでmildからmoderateな刺激が認められる(ACGIH (7th, 2001), HSDB (2003))との記載、および重度の刺激性と化学的火傷のもととなる危険性があるとの記載(HSFS (2001))に基づき、区分2Aとした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	呼吸器感受性 : 分類できない データなし 皮膚感受性 : 分類できない データなし
生殖細胞変異原性	- : 分類できない データなし
発がん性	- : 分類できない 飲水投与によるプロモーション作用を調べた試験の報告[SIDS (2009)]はあるが、被験物質の直接的な発がん性試験のデータはなく分類できない。
生殖毒性	- : 分類できない データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	呼吸器への刺激のおそれ : 区分3 ヒトで咳および鼻と咽頭の刺激がみられる(ICSC(J) (1997), HSFS (2001))ことに基づき、区分3(気道刺激性)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	- : 分類できない データ不足のため、分類できない。
誤えん有害性	- : 分類できない データなし

12. 環境影響情報

混合物としての知見なし
成分についての危険有害性情報とGHS分類

成分	ピロリン酸四ナトリウム(無水)
生体毒性	水生環境有害性短期(急性) : 区分外 甲殻類(オオミジンコ)の48時間LC50=391000 µg/L(AQUIRE, 2003) から、区分外とした。
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	水生環境有害性長期(慢性) : 区分外 難水溶性でなく(水溶解度=81400mg/L(PHYSROP Database, 2005)) 急性毒性が低いことから、区分外とした。
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データなし

13. 廃棄上の注意

化学品, 汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄, 又はリサイクルに関する情報

- 残余廃棄物 : 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
- 汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

- 国連番号 : 該当しない
品名 : 該当しない
国連分類 : 該当しない
容器等級 : 該当しない
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 : 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

国内規制がある場合の規制情報**国内規制**

陸上規制情報 : 特段の規制はない。
 海上規制情報 : 非危険物
 航空規制情報 : 非危険物

国際規制

海上規制情報 : 非危険物
 航空規制情報 : 非危険物

15. 適用法令**該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報**

特定化学物質の環境への
 排出量の把握等及び管理
 の改善に関する法律(化学
 物質排出把握管理促進法
 (PTPR)) : 該当しない

労働安全衛生法 : 対象物質:ピロリン酸四ナトリウム(無水)
 名称等を表示すべき危険有害物(法第57条、施行令第18条別表第9)
 名称等を通知すべき危険有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
 リスクアセスメントを実施すべき危険有害物(法第57条の3)

毒物及び劇物取締法 : 該当しない
 消防法 : 該当しない
 船舶安全法 : 該当しない
 航空法 : 該当しない
 水質汚濁防止法 : 該当しない

16. その他の情報**参考文献**

GHS分類結果データベース nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
 GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報 厚生労働省 職場のあんぜんサイト HP
 GHS混合物分類判定システム 経済産業省
 JIS Z 7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

免責事項

記載事項は、作成日又は改定日における入手できた資料や情報に基づいて作成しております。記載のデータや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。又、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。全ての製品にはまだ知られていない危険性を有する可能性がありますので取り扱いには十分ご注意ください。